

令和 8 年度 学校経営環境分析書

安浦中学校区 校番 33 学校名 呉市立安登小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>○地域や保護者が教育活動に対して協力的である。</p> <p>○学校行事やPTA 活動等の中で、保護者が協力的で学校を支援する風土がある。</p> <p>○民生委員・児童委員、防災リーダー等のゲストティーチャーとしての支援が強く、体験活動や交流活動ができる。</p> <p>また、地域とのふれあいを通して豊かな心を育むことができる。</p> <p>○自然環境に恵まれており、年間を通して自然に親しむ活動が計画できる。</p>	<p>S (強み)</p> <p>○教職員間の連携がスムーズで、対応が迅速にできている。(情報の共有等)</p> <p>○小中が連携し、乗り入れ授業を計画したり授業改善に取り組んだりしている。</p> <p>○縦割り班活動を通して、異学年交流ができる。</p> <p>○見通しをもたせたり、事前に練習をして自信をもたせたりすると、力を発揮できる児童が多い。</p>	内部環境	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <p>○高まりあえる教職員集団を目指し、授業改善に取り組む。</p> <p>○地域との関わりを大切にしながら教育活動を継続し、心豊かな人間形成を目指す。</p> <p>○高学年の活躍の場を設定し、ふり返りや評価をすることでリーダー性を高める。</p> <p>○防災教育を充実させる。</p> <p>○ICTを効果的に活用する。</p>
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>○運動場が狭く、運動スペースがとりにくい。</p> <p>○校外学習での見学場所が遠く、公共交通機関等で移動することがある。</p> <p>○単学級で少人数の学級が多く、人間関係が固定化しやすい。</p> <p>○全校で学力補充の時間を設定しているが、教員が少ないため、複数教員での指導が難しい状況がある。</p>	<p>W (弱み)</p> <p>○学力差があり、基礎学力の定着度が低い児童がおり、語彙力等の言葉の力に課題がある児童がいる。</p> <p>○主体的に判断したり、行動したりする自主性に課題がある。また、生活経験が不足している児童が多い。</p> <p>○あいさつや返事、発表の音が小さい。自らあいさつをすることができる児童としない児童に個人差がある。</p> <p>○休みがちな児童や配慮を要する児童の割合が多くなっている。</p>		<p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p> <p>○あいさつ・返事、発表の声の大きさの指導を継続する。</p> <p>○お互いを認めたり仲間と協力したりする活動を通して、自己肯定感を高めていく。</p> <p>○特別活動(学級活動や委員会・クラブ)の取組を通して、気付き・考え・行動する児童を育成する。</p> <p>○いろいろな経験を積み、自信をもたせる。</p> <p>○配慮を要する児童の情報を教職員で共有し、適切な支援をしていく。</p>

2 重点課題

- ・学力向上に向けて実態把握をし、個に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図る。
- ・児童自らが主体的に判断したり、行動したりする自主性をもたせる。
- ・児童一人一人が安心して学べる居場所づくりをする。
- ・「自分の命は自分で守る」力を育成するとともに、地域の防災に貢献する。
- ・タブレットを効果的に活用するなど業務改善を行い、働きやすい職場環境を実現する。